

別府大学大学院 文学研究科  
**学 位 論 文 評 価 基 準**

別府大学大学院文学研究科は、幅広い教養と専門に関する深い学識と研究方法を身に着け、高い倫理性のもとに自立した研究を推進する能力を有すると認められる者に対し、以下の評価基準に基づいて学位審査をおこない、適当と認められる者に対して修士または博士の学位を授与する。

## ●修士論文

修士論文は次の各号に掲げる事項に留意して公正な審査を行う。

### 【評価項目】

1. 適切な課題設定がなされていること。
2. 課題解明にもちいる研究方法が適切であること。
3. 先行研究が十分に検討されていること。
4. 論旨が明快で、一貫性及び体系性があること。
5. 研究内容に、従前の研究とは異なる着眼点や発想があること。
6. 文献や資料の取り扱いに関し、研究倫理が順守されていること。

### 【評価方法および体制】

主査1名(指導教員:専攻の専任教員)および副査1名以上(専攻の専任教員)で審査し、最終試験と口頭試問をへて、専攻会議の合議で総合的に判断する。

## ●博士論文

博士論文は次の各号に掲げる事項に留意して公正な審査を行う。

### 【評価項目】

1. 適切な課題設定がなされていること。
2. 課題解明にもちいる研究方法が適切であること。
3. 先行研究が幅広く、かつ緻密に検討されていること。
4. 論旨が明快で、一貫性及び体系性があること。
5. 研究内容に、従前の研究とは異なる着眼点や新しい発想があり、当該学問分野の研究発展に貢献する独創的な知見を見出せること。
6. 文献や資料の取り扱いに関し、研究倫理が順守されていること。
7. 自立した研究者として、研究活動を行う能力が認められること。(学会発表、論文公表など)

### 【評価方法および体制】

主査1名(指導教員:専攻の専任教員)および副査2名(1名は専攻の専任教員、1名は外部に委嘱する場合もある)で審査し、最終試験と口頭試問をへて、専攻会議の合議で総合的に判断する。